



ITC-J COUNCIL No.5

Vol.33 May 2021



ITC-J 第39期テーマ

再生と多様性を求めて

Council No.5 第33期テーマ

翼をひろげて



ITC-J 宣誓

我々、インタラクティブ トレーニング イン コミュニケーション
ジャパンのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニ
ケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

ITC-J Pledge

We, as members of Interactive Training in Communication - Japan, hereby
pledge to improve our communication and leadership skills, in order to
achieve greater understanding throughout the world.

第 34 期役員候補者 2021～2022

会 長 王 久美子 (大 阪) 第一副会長 平井 典子 (豊 中)

第二副会長 坂本知佳子 (南大阪) 書 記 野村 翠子 (大 阪)

会 計 高橋 信子 (阿波・眉山)

カウンスルNo.5 第 34 期 会合予定日

ホテル日航大阪

第 1 回会合 2021 年 11 月 29 日 (月) ホスト：大阪クラブ

第 2 回会合 2022 年 4 月 ホスト：千里クラブ



翼をひろげて

カウンスルNo.5 会長 宮武和美

新型コロナウイルスが蔓延してから、毎朝、新聞の、全国新型コロナ感染者数を見るのが日課となり、早や、2度目の春を迎えました。

新型コロナウイルス変異種やら、ワクチンやらと、いまだに先の見えない厳しい状況です。4月の会合開催を延期し、5月に開催としましたが、残念ながら「通天閣」「太陽の塔」に非常事態、警戒を示す赤色が点灯されました。この状況に役員会では悩みながら検討を重ね、カウンスルNo.5 第33期第2回会合開催の中止を決定いたしました。

本当に、皆様とお会い出来るのを楽しみにしていましたのに残念でなりません！！

ステイホームを強いられてから、役員会では、いち早く Zoom の使用を開始いたしました。1年前は、会員全員が Zoom を使用出来たら・・・と、戸惑いはありました。

「今だからこそ時代に沿ったことを始めてみようではありませんか！！」の問いかけから Zoom レッスンが始まりました。平田真弓第一副会長の根気よい指導と会員の熱意に感謝でいっぱいです。現在ではほとんどの方が参加できるようになられ嬉しいことです。画面越しでも、皆様にお会いできるのを楽しみ、役員会、委員会、クラブ例会と、皆様のやる気と、前を向き突き進む聡明さを十分に確認できた33期でもありました。

カウンスル、クラブ共に、猶一層豊かな生長を続けて欲しいと心から祈ります。
皆々様のご協力、ご支援に深く感謝いたします。



ご尽力いただいたクラブ会長の皆様です

大 阪クラブ 王 久美子 北大阪クラブ 中村由紀子 豊中クラブ 野村 秀子
南大阪クラブ 棚田 順子 城 北クラブ 中井 弘子 千里クラブ 井上 純子
堺 東クラブ 稲次 美子 阿 波クラブ 田尾貴美子 眉山クラブ 大石 綾

毎例会の開催を思い、悩み、決断を下す！ 今期は過酷とも言える様な1年だったと思いますが、この様な経験は、ITC → ITC-J でも初体験です。通常とは違う会長としての糧、栄養を授かったと認識し、今後のご活躍を祈ります。お疲れ様でした👩🏻

カウンスルNo.5 第33期役員会年次報告書 2020~2021

第33期役員会は「カウンスルNo.5会則及び細則」に則り、会長年間テーマ「翼をひろげて」と目標「迅速な情報提供」に沿って各役職を遂行、以下の活動を行った。

1. ITC-J、他カウンスル及びクラブからのメールやご案内をすべて送信した。
2. 役員会は2021年4月22日迄に定足数のもと13回行った。また、緊急事態下での相談会を7回行った。
3. カウンスルメールを7回配信した。また、目標の「迅速な情報提供」の実施として「役員会・委員会だより」を6回配信した。
4. 第1回会合は2020年11月24日。第2回会合は2021年5月18日。に開催予定だったが、新型コロナウイルス蔓延により対面開催は中止し、第1回会合は「通信によるビジネス」をカウンスルメールNo.2にて配信した。
第2回会合は「通信によるビジネスとクイズ形式のプログラム～いい感じ（漢字）～（解答後日送信）」をカウンスルメールNo.8にて配信予定。
5. 指名委員選挙は通信での投票とした。会長、議会議法規役員により選挙開票を確認した。「通信によるビジネス」の議事録は12月4日に承認された。
6. コロナ禍の影響で対面式会合や例会が困難になり、Zoomの使用が不可欠と判断し平田第一副会長指導のもと、午前の部と午後の部を設定し7回開催し14回講習を行った。多数の受講者があり、各クラブでZoom例会が実現している。
7. Newsletterを2回発行した。
8. 会員数は125名でスタートし、1名の新入会員、2名の退会会員届を受理、現在124名。

第33期書記 松崎智子 2021年4月22日報告



「カウンスル役員の実践」

ITC-Jはコミュニケーションを大切に考えます。コロナ流行により、カウンスル会合・クラブ例会が開催しにくい今期、遠隔会議システムが有効と考えました。

そこで画面を通して直接話し合いができるZoomを遠隔コミュニケーションの一つと捉え、プログラム委員会ではできるだけ多くの会員が「Zoomが使えるように！」と積極的に活動しております。Zoomはスマホがあればパソコンがなくても大丈夫。

コロナ禍にあって十分に活動ができない今、せめてZoomに参加できるようになっておくのも、何か得をした気分になりませんか？

遠く離れた親戚や同級生、知り合いとも楽しいおしゃべりができます。

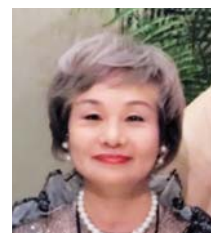
また世の中はオンライン講座が花盛り！新たな可能性が広がります。

第一副会長 平田 真弓



コロナ禍の中、会員委員会では対面例会がままならず、クラブ間、会員間のコミュニケーションの衰退を懸念し、クラブ情報として、No.5のクラブ第二副会長各位に、「コロナ禍におけるクラブの取り組み、活動について」の報告をいただき、3回「役員会・委員会だより」に掲載しました。報告を受け取るたびに、前とは異なり会員一人一人の意識改革、進歩を感じ取る事が出来ました。ご協力ありがとうございました。

第二副会長 豊川三千代



議事録は報告内容を簡単明瞭かつ正確に記述し、読み手に分かりやすく伝えることが大切です。33期は緊急事態宣言の中、第1回会合は「通信によるビジネス」のみとなりました。報告事項は文面でしたので議事録らしい記載方法や言葉選びに苦心いたしました。また、書記の仕事である選挙投票用紙や選挙結果報告用紙の作成はミスが無いように細心の注意が必要と感じ入りました。しかしその一方で日本語の表現方法の深さを再確認も致しました。例えば、促す、依頼する、薦める、呼びかける等々の使い方の気付きなど多数ありました。書記をさせて頂き感謝の気持ちです。有難うございました。

書記 松崎 智子



今期は役員会が殆ど Zoom 会議、更に第1回会合も通信となりました。個人的には家族に取り込みがあり、お役ができるか心配でしたがリモートによる活動で私は大変助かりました。今期、カウンスルNo.5 ゆうちょ銀行口座用印鑑を新しく購入しました。毎年、苦勞するのが会計の氏名変更・口座の引き継ぎです。会社登録された団体なら問題ありませんが非営利団体は社会的に警戒されるようです。最近の振り込め詐欺や偽団体の架空口座事件で我々ITC-Jには任意団体確認と氏名確認が厳しいです。今までは会計個人の印鑑を口座印として使用していましたが、団体としての口座印鑑を作りましたので来期からは手続きがかなりスムーズになります。

会計 遠藤美与子



議会法規役員は今期役員会の要請で役員会に出席しております。現在、未だ続いている新型コロナの鎮圧が出来ず、会員の不安、危険を回避するため、国の要請を受け入れております。それ故、カウンスル会合の開催日程の決定に大きいのしかかり、振り回されております。このような不安材料を持ちながらも Zoom 利用の役員会では楽しい雰囲気です。諸々のアイデアの討議を重ねております。ハード面、ソフト面の絡み合いも出てまいります。クラブからも事案提出し、より良い ITC-J となるようご意見をお出し頂き、お力をお貸しください。お目にかかれることを望みながら・・・。

議会法規役員 梶本 町子





「クラブ役員の苦悩」



大阪クラブ 第一副会長 田中 和美

「クラブ役員の苦悩？苦労？楽しみ」

現在大阪クラブは会員が19名である。

3年に1度はお役が回ってくることになる。会員歴17年の私はクラブ役員を6回、今期は2度目の第一副会長である。

前期はコロナ禍で対面での例会が3月以後できなくなり、メール例会が続いた。

今期に入ってもコロナ禍が一向に収まらず、新しい試みとしてZoomプロに加入し、昨年12月よりオンライン例会を開始し、現在に至る。

役員は、例会準備にある程度時間がかかる。ある意味苦労もあるが、皆和気あいあいとZoom役員会、例会を楽しんでいる。何が嬉しいって対面例会と同じように、毎例会が充実し、他愛無いお話もできている。充実した例会を開催できることは、苦悩ではなく、楽しみである。



大阪クラブ第43期役員



北大阪クラブ 第一副会長 加藤 大志

今期お役を拝命し、何ごとも初めての経験で右も左も分からない状態です。他の役員の方々に助けて頂きながら何とか役割を果たしている状態です。ITC-Jのクラブ役員として「どうやって調べたらいいのか」という事に悩みました。様々な規約が書いてある場所とその調べ方が分かりにくいと感じています。私は世代的にはデジタル世代です。「分からないことはすぐネットで検索する」という行動が染みついています。ITC-Jは長い歴史の中で伝わってきたルール等があるので、「すぐ調べられない」「誰かに聞かないと分からない」状態に非常に苦労しています。何ごとも勉強と思い、皆様のお役に立てるように出来ることをさせていただきたいと考えています。



豊中クラブ 会長 野村 秀子

今期の例会活動として第1回例会は対面で行いましたがその後はZoom例会で進めています。

Zoomへの取り組みはカウンスルの教育のおかげでほぼ全員がスムーズに行う事ができるようになりました。何回も練習を重ね、皆で苦勞を分かち合いました。

Zoomでの発表の方法、例えばスピーチコンテスト時の計時の方法、選挙をどのようにするかは皆で話しあい、多くのアイデアの中から、選び決めることにしました。新しい試みに、会員の意見も活発に行きかい充実感もありました。ただ、時間がかかるため終了後は目や首の疲れが残るとの声も多いので、間に休憩をとったりと課題が残されています。まだまだ戸惑いながらもトライしているのが現状ですが、何事もチャレンジとみんな楽しく頑張っています。



2月 Zoom 例会



南大阪クラブ 会長 棚田 順子

コロナ禍の中、昨年は9月～12月迄は対面例会を開催しましたが、今年に入りコロナ感染拡大に成り通信例会にし、スピーチコンテストも中止し、皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。役員会で万全の準備をしましても変更・変更を余儀なくされました。一番、残念な事、通信・短縮例会では、プログラムが出来ない事でした。教育は次例会のプログラムの教育なので割愛、昨年も中止に成った吉野山での野外例会、今年は35周年を会員で祝うのを楽しみにして居ましたが、取り止めにし、プログラム委員会・役員会で立てた計画もみんな没に成りました。毎回、消化不良のままの例会です。まだ、先が見えないので今暫く役員会の苦悩は続きそうです。



3月対面例会集合写真



城北クラブ 会長 中井 弘子

今期はコロナの中でどれだけ例会が行えるのか、誰も経験したことがない状態での不安なスタートとなりました。Zoom が出来ない人もあり全員参加がままならず、このまま会員同士が疎遠にならないだろうかとの焦りもありました。

しかし Zoom 例会を行ってみると、モニターごしなのに親密度がいつもより増し、全員が集中し、個人の意見をしっかり発表し、通常例会同様の満足感を得ています。ただ、Zoom のプログラム企画は難題でもあります。



千里クラブ 第一副会長 辰巳 信子

先の見えないコロナ禍の今期スタート。例会が開催できるのかと不安に思う日々。12月は通信による会合をしましたが、1月と2月は Zoom 例会を開催。Zoom 例会が可能になったことは、クラブにとって大きなプラス要因です。しかし、会員一同顔を合わせて行なう例会とは異なり、画面越しでもわかり合え、楽しめるプログラムの工夫、適切なタイムアジェンダの作成（時間配分の考慮）などが課題となりました。それらの課題を役員一同で考え、何とか遂行してきましたが、反省点も多々あります。コロナ禍で「〇〇だから仕方ない」と思うのではなく、やるべきこと、やれることを考える重要性を学びました。この経験を今後も生かしていきたいものです。



久しぶりの対面例会（3月）

マスクで感染対策は
万全です！



堺東クラブ 会長 稲次 美子



会員数6名の堺東クラブは、5名の役員、1名のフローアー会員という体制でこの3年間活動してきております。会期初めの9月のみリモート役員会となりましたが、普段と同じくフローアーの1名にも招聘者として参加してもらい6名全員で例会を進めております。協議事項・審議事項・プログラムもアジェンダ作成段階より全員の意見をききながら、スムーズに事を運ぶことが出来ていますので、現状では運営に支障を来たしてはおりません。

実際今のところ、私は一番苦勞の少ない、3度目の会長職です。小人数クラブとしてこの状況変化に臨機応変に対処していきつつ、クラブ独自の方法で改革を進め、存続発展に取り組んでいくよう全会員努力しています。



阿波クラブ 会長 田尾 貴美子

阿波クラブは、クラブの歴史と共に成長してきたクラブです。それにはチャーターメンバーの存在が大きいです。常に問題については、皆で親身になって、色々な角度から話し合います。悩んでいる方が居れば、具体的にアドバイスし、助け合う文化が築かれています。また、眉山クラブの方とも非常に関係が良好です。これは、眉山クラブの立ち上げのときから、阿波クラブがお姉さんクラブとして関わってきたからだと思います。今では、阿波クラブが眉山クラブに助けられています。この様に、『役員者の苦悩』と感じたことはありません。常に前向きに活動してきたからだと思います。コロナ禍ではありましたが、改めて仲間の絆を感じ取ることが出来ました。



眉山クラブ 会長 大石 綾

徳島でのコロナウイルス感染者は比較的少なく、1月中旬までは通常に近い例会を継続することができていました。12月のクリスマス例会は会員のみ参加に限定し、今期会計の熊谷さんのピアノに合わせて音楽を楽しみました。1月と2月例会を休会することを余儀なくされましたが、4月野外例会は、徳島県内の人口の密集しない南方面へお食事に行く予定もしています。



コロナウイルス感染拡大で気分が落ち込み気味ではありますが、新生活様式を取り入れた中でも、楽しんで前へ進める仲間がいることはとても心強いです。以前のようにとはいきませんが、早く皆様とも交流したく願っています。

歌会を楽しもう 「折句」

^{おりく}
「折句」とは・・・ある一つの文章や詩の中に、別の意味を持つ言葉を織り込む言葉遊びの一種。今回は6つのお題の中から選んで作って頂きました。

ち ま き

ち ちょっと待て
ま 先ずはうがいと
き きれいな手
松本 敬

ち 小さき声
ま マスクよりもれ
き きかぬふり
栗田 加寿子

ち 父になる
ま 待ち遠しいよ
き 君のこと
湯川 直美

ち 小さな
ま 孫に肩をもむと せがまれ
き 気を使い金使い 首が回らず
田中 佐和

ち 千鳥なく
ま 牧場のみどり
き 希望わく
川内 良子

ち 長老も
ま マスクに決めてる
き 鬼滅柄
中井 弘子

さ つ き

さ さあどうぞ
つ 作ってみたの
き 木の芽和え
堤 其美子

さ さつきばれ
つ つまとお花見
き きげんよし
川内 良子

さ 櫻花
つ 衝立に見る
き 君がおも
西田 富美子

さ 颯爽と
つ 艶やかに これからも
き 気丈でありたし 八十路の私
高田 文子

さ 五月雨に
つ 杖持ち 傘持ち 荷物持ち 私の
き 気分はヘビー級
田中 佐和

わかば

わ 脇役も
か 価値の出る場所
ば 場面有り
小田 和子

わ 我が想い
か 語る勇気に
ば 薔薇のとげ
西田 富美子

わ ワールド大会
か かがやけ日本
ば ばくちく音
川内 良子

わ 我が子らの
か かなきりごえと
ば バッタかな
大石 綾

かしわもち

か 顔隠し
し しっかりと打とう
わ ワクチンを
も もういいかげん
ち 地球に安堵を
湯川 直美

か 顔合わせ
し しっかり握手で
わ 笑う日も
も もうすぐそこに
ち 近く成りけり
長谷川 充子

か かわいいと
し 信じていたが
わ 悪い女（ひと）
も もう後戻りできない
ち 痴話げんか
熊谷 和代

さつきばれ

さ さっきまで
つ ついさっきまで
き 記憶あり
ば 場所が変わると
れ 冷汗三斗
松本 敬

さ 坂道の
つ つづら折りから
き 紀州路を
ば はるかにのぞめば
れ 連山に滝
島津 京子

こいのぼり

こ 壺中天
い いつか はやぶさ
の 乗りたくて
ぼ 望遠鏡で
り リュウグウ さがす
浦濱 恭子

こ このチャンス
い 一気に乗って
の 乗り切って
ぼ 僕の人生
り リーチかな
大石 綾



皆様有難うございました。



35年以上継続会員の皆様

大 阪クラブ 茶谷 滋子 早川 住江 大谷 富子 坂口 正子 榛木美恵子
 北大阪クラブ 増田 泰子
 豊 中クラブ 木下美智子 榎本 町子

カウンスルNo.5 設立から、34年目を迎えようとしています。
 これまで、多くのご指示、ご意見をありがとうございます。
 尚一層、後輩へのご指導をよろしくお願いいたします。

Inspiration

柴田 裕美 (千里)

人生は生きることが大事なのです。
 いつも好奇心を持ち続けることです。
 どんな理由があっても決して人生に背を向けてはいけません。

エレノア・ルーズベルト

会員数

2021年5月1日現在

[] は他カウンスルとの重複、()内はNo.5内の重複会員数

| クラブ | 大阪 | 北大阪 | 豊中 | 南大阪 | 城北 | 千里 | 堺東 | 阿波 | 眉山 | 合計 |
|-----|-------|-------|----|-----|-------|----|----|----|-------|-----------|
| 会員数 | 19(1) | 16[1] | 8 | 16 | 16[4] | 14 | 6 | 12 | 20(2) | 127(3)[5] |

編集後記

顔を合わせる、会えることの大切さを教わった1年でした。そんな中、Zoomによる編集会議と、メールのやりとり。一つ一つ確認しながら歯痒い思いの作業を行ない、ニューズレター2号が完成しました。例会も開催が難しい中、寄稿や写真提供にご尽力頂きました皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。

編集者：中村朱李 スタッフ：田中絢子・島津京子